

平成31年1月31日

会員各位

協会だよりー3102(2月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

2・【トピックス】:

- 平成31年2月08日(金)第239回月例会・講演会&新年会の開催

講演: 如水会館 松風の間 15:00

演題: 「中国での貴金属リサイクルについて」・「アルゴヘレウスによる金銀ビジネス」

講演者: ヘレウス株式会社 小林 直久様

演題: 「土壌汚染対策法の改正とその影響」

講演者: DAWAエコシステム(株) 加藤 晋様

エコシステムジャパン(株) 辻本健治様

新年会: 如水会館 富士の間 17:30

- 平成31年3月15日(金)第6回運営委員会(年度最終)の開催



- 一. 協会よりのお知らせ摺
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 事務局より(2月度の予定)
- 六. 【雑学】新シリーズ(小林尚道氏寄稿)
「絆」で結ぶ三陸海岸訪問(3)

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより3101（1月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に通知
- ② 会員専用HPの更新
12月度経費報告
- ③ 2月8日（金）に実施される第239回月例会参加者の確認
最終的に講演会には60名の会員が参加確定、新年会には経済産業省からのゲストを含めて65名の参加となります。
- ④ 第5回運営委員会を1月18日（金）堺化学工業東京支店の会議室において実施
239回月例会の進行役を確定した。講演会司会は月例幹事会社である松田産業（株）増井祐二氏、新年会司会は運営委員長の堺化学工業（株）渡辺敏樹氏が行う。その他準備のために担当委員は新橋事務所に集合してから会場入りする。又来年度の年間予定案を模索した。
- ⑤ 新規賛助会員が入会
緊急役員会にて入会申し込み者「株式会社メタルソリューションプロバイダー」代表取締役 日野原尚武氏を賛助会員として入会を承認しました。1月22日に入会金・今年度年会費合計40,000円を入金しました。尚239回月例会への参加も確定しました。
- ⑥ 触媒工業会との共催講演会を事務局で協議して9月に実施することです承。今回は触媒工業会にて講演者を決めます。
- ⑦ 昨年度の実績調査
31日現在26社からの回答がありました。
- ⑧ 総会開催日の模索
来年度は5月14日から17日の間で六本木クラブへ3月中旬に予約をかけてから確定します。従いまして会員各位様はこの期間予定を予め埋めないようにご配慮お願い致します。

4. [予定事項]

- ① 第239回月例会（講演会・新年会）の開催
日時：平成31年2月8日（金）15：00－懇親会19：30まで
場所：如水会館 講演会：「松風の間」、新年会：「富士の間」

講演内容はトピックス参照

幹事担当会社：

ヘラウス(株)・DOWA メタル(株)・三菱マテリアル(株)松田産業(株)

運営委員担当会社：

日誠金属(株)・相田化学工業(株)

運営委員会社：

堺化学工業(株)・石福金属興業(株)・クラリアント触媒(株)・横浜金属(株)・安田薬品(株)・ユミコアジャパン(株)

② 2018年の触媒資源化実績報告と整理

正会員会社対象に毎年実施している2018年1月1日から12月31日までの各部会（貴金属部会・Ni-Co部会・Mo-V-W部会・アルミナその他部会・レアメタル部会）の使用済触媒からの資源化と使用済触媒以外からの資源化した実績量を調査提出された資料を基に全体を整理して、「2018年版触媒資源化実績報告書」の編纂を行います。

③ 第38回 JSCRA 会の開催

締切日の1月31日までの参加予定者は8名でした。再度確認のメールをして参加者を募集致します。

5. 事務局（2月度の出勤予定）

出勤予定●：8日間 ×：年末休み

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | 2/01 | 2/02 |
| | | | | | × | × |
| 2/03 | 2/04 | 2/05 | 2/06 | 2/07 | 2/08 | 2/09 |
| | | ● | | | ●月例会 | |
| 2/10 | 2/11 | 2/12 | 2/13 | 2/14 | 2/15 | 2/16 |
| | | ● | | ● | | |
| 2/17 | 2/18 | 2/19 | 2/20 | 2/21 | 2/22 | 2/23 |
| | | ● | | ● | | |
| 2/24 | 2/25 | 2/26 | 2/27 | 2/28 | 3/01 | 3/02 |
| | | ● | | ● | | |

(文責：専務理事)

【雑学】「絆」で結ぶ三陸海岸へ（震災から7年三陸応援旅行）（3）

いよいよ旅も三日目、宿泊した休暇村「陸中宮古」（宮古市崎嶺崎 18-25-3）を出発、三陸鉄道南リアス線の吉浜駅を目指します。途中の宮古市街、山田町、大槌町、釜石市街は車中よりの見学ですが、宮古、山田、大槌、釜石は海岸としては人口も多く市街地が平坦な為津波の被害も大きかった。国道45号線も山側に付け替え工事が進み、港と市街地の間には防潮堤の工事が行われています。南リアス線は吉浜駅～恋し浜駅間の乗車です。



南リアス線吉浜駅 2018 09 08



釜石駅より三つ目の吉浜駅（よしはまえき）は、岩手県大船渡市三陸町吉浜にある三陸鉄道南リアス線の駅。駅の愛称は「キッピンあわびの海」。古くから高級食材として知られた当地特産のアワビ、「吉浜（=きっぴん）鮑」に由来しています。恋し浜駅（こいしはまえき）は、岩手県大船渡市三陸町綾里字小石浜にある駅です。吉浜から乗車すると、三陸駅、甫嶺駅、次が恋し浜駅です。駅名を小石浜から恋し浜と変更して、愛を語る若者たちを呼び寄せたようです。ホームのコーナーには愛の鐘が設置され、駅舎には願い事を書いたホタテの貝殻が多数ぶら下げられています。



南リアス線恋し浜駅 2018 09 08



これから通る大船渡市の大船渡湾は、太平洋に南面し且つ南に突き出た岬を有する天然の良港といわれ、戦前は軍港としても利用されました。今は秋刀魚の水揚げの港として有名ですね（2017年の水揚げ量として1位は北海道の花咲港、2位は宮城県の気仙沼港、3位は女川港で大船渡港は4位であった）。60年近く前のことですが、大船渡市は南に港を抱え、岬に囲まれていることが禍し、昭和35年（1960）5月にチリ沖大地震で発生した津波が24時間後に到達して人的被害を受けとわれています。

バスは大船渡の市街を通過します。国道45線は、まるで太平洋セメント(株)大船渡工場の敷地内を通過するように通っています。もうすぐ本日の昼食場所「おさかなセンター三陸」に到着です。添乗員より、今日の昼食の海鮮丼はボリュームが少ないので、朝食のバイキングで、たっぷり食べて於いてくださいと言われたが、どのくらい少ないのだろうか？



うーん！昨日の宮古の昼食に比べて少な目かな？でしたが、味は抜群で昼ビールのお供に最適でした。昼食後は碇石海岸へと向かいます。

碇石海岸の概要説明によると「碇石海岸は、末崎半島の太平洋側に面した約6kmの海岸を指しています。高さ30m前後の黒い岩の断崖が続き、穴通磯などの洞門、雷岩や千代島などの岩島、洞穴、乱曝谷などの水道と点在する礫浜など、変化にとんだ海岸地形を見ることが出来ます」。説明盤に有った航空写真を添付いたします。



《穴通磯》岩手県大船渡市末崎町赤土倉
三陸ジオパークの説明では、大船渡湾の入口末崎半島は、恐竜がいたおよそ1億3千万年前(中生代白亜紀)の岩石できています。海岸線には数多くの奇岩が並び、中でも海水の優食によって岩の基底部分に大きな穴が3つ開いた穴通磯は人気スポットとなっています。観光の小舟はこの穴を通過するそうです。



《雷岩と乱曝谷 (らんぼうや)》岩手県大船渡市末崎町字大浜

雷岩はその底部にある空洞に波が打ちつけるときに、空気が圧縮され「ドーン」という音を発生します。音の大きさは高波のとき大きい音になるとか。乱曝谷は雷岩の隣にある細い川のような場所でマリンプルーの素晴らしい水の色です。



展望台と雷岩



乱曝谷



奇跡の一本松

バスは陸前高田市へと向かいます。陸前高田市街地の西には気仙川が流れています。海岸を越え、川を遡った津波によって市街地の殆どの建物が流され、市の調査によると市全域で犠牲者 1757 名（行方不明者含む）に達する被害を受けました。

高田松原は気仙川が運んだ土砂による東西約 2.5 キロメートルの砂浜に、寛文 7 年（1667）高田の豪商菅野杢之助が仙台藩の支援のもとに、6200 本余のクロマツを防潮林として植林したものです。その松原も津波で殆どが流されたのですが、一本だけ生存していました。その一本を防腐加工し「奇跡の一本松」モニュメントとして立てられました。一本松の奥が倒壊したユースホステルの建物です。市街地造成の地面かさ上げ

の為の土砂を運ぶ巨大なベルトコンベアは撤去され柱のみ残っています。



高田の防潮堤（左）と岩手県



高田松原の砂浜再生の看板（右）

3 日間の旅も終わり、バスは一ノ関駅へ向かい東京への帰路に着きました。やはり三陸復興は道半ばの感が有りました。終（記：小林尚道）